

I 本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

平成28年4月に大館桂高校、大館工業高校、大館高校全日制課程が統合し開校した学校である。基本理念として、「生徒一人一人の能力を最大限に伸ばし、地域社会を愛し、自立してふるさと秋田の発展に貢献できる人間の育成を目指す」ことを掲げている。

これまで、各校で行ってきた地域に根ざした活動や、2年生全員がインターンシップを経験し就労意識の高揚に努めることを継承し、地域に開かれた学校を目指す。

普通科には国公立私立4年制大学や医療系看護系専門学校等への進学を目指す文理コースと実用的な資格を取得して卒業後の就職を目指すビジネスコースの2コースがあり、進路希望に応じて選択することができる。

生活科学科では地域の協力を得ながら家庭クラブを中心とした研究活動に取り組んできており、地域と連携しながら各種イベントで発表し、話題を呼んでいる。地元の伝統菓子「かまぶく」の製作や地域の特産物である枝豆の普及活動にも取り組んでいる。また、福祉コースでは介護職員初任者研修の修了を目指す他、地域の福祉施設や支援学校、さらに東日本大震災の被災地の子どもたちとも交流するなどの活動を行っている。

工業系各学科では、秋田県高校生ものづくりコンテストの各部門で優秀な成績（平成26年度測量部門東北大会優勝、全国大会準優勝、平成28年度溶接部門団体・個人優勝）を収めており、高校生「橋梁模型」作品発表会では平成25年度より4年連続最優秀賞を受賞するなど、「ものづくり全県トップの高校」を目指して技術の鍛錬に努め、全県の「ものづくり教育」をリードしている。

普通科及び生活科学科はくくり募集を実施しており、工業系学科では機械科、電気科、土木・建築科の3学科を設置し募集している。

5つの学科と10のコースをもつ学校の特色を活かすため、学科間の連携が重要である。教育課程の編成やキャリア教育、産業教育における連携をさらに深めていくことが本校の課題である。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

国際化社会、グローバル経済の進展と少子高齢社会への移行により、我が国の産業構造や就業構造は変化し続けており、このような変化にも柔軟に対応して、キャリアアップを図っていくことのできる人材の育成が求められる。地域においては、次代を支える若者の定住がますます求められ、特に製造業などのものづくり・専門的な知識技能や資格を活かした

分野において、本校卒業生の活躍が期待される。将来、優秀な人材が県内にとどまり、地域の活性化の原動力となるように、地域に貢献できる人材の育成をしていかなければならない。

### 3 目指す方向性や学校像

- (1) 学校での教育活動と地域社会での体験を通して、一人一人の社会的・職業的自立に向け、確かな学力と必要な基盤となる能力や態度を育てる。
- (2) 地域の環境、文化、福祉などの学習を通して、科学技術の進展と生活様式の進化に対応する技術を身に付け、文化の継承と生活改善の両面から地域社会の発展に貢献する能力や態度を育てる。
- (3) ものづくりなどの体験学習を通して、豊かな創造性を育み、社会や産業の変化にも主体的かつ柔軟に対応する資質を身に付け、地域社会の発展に積極的に貢献する能力や態度を育てる。

### 4 5年間で達成を目指す具体的目標

#### (1) 進路志望別達成目標

- |           |      |
|-----------|------|
| ①国公立大学合格者 | 15名  |
| ②4年制大学合格者 | 50名  |
| ③公務員合格者   | 20名  |
| ④就職内定率    | 100% |

#### (2) 資格取得の奨励

(普通科) 全員が資格取得に挑戦し、漢字・英語・数学・簿記・ワープロ

・情報処理から二つ以上の資格取得に努める。

(生活科学科) 全員が資格取得に挑戦し、漢字・英語・数学・簿記・ワープロ・情報処理・調理・洋裁・和裁・着付け・介護から二つ以上の資格取得に努める。

(工業系各学科) 全員が卒業までに5種目以上の資格を取得し、さらに難関資格を一つ以上取得する。

#### (3) 部活動等の実績

- |        |     |
|--------|-----|
| 東北大会出場 | 10部 |
| 全国大会出場 | 5部  |



## Ⅱ 具体的な取組等

### 1 基礎学力定着のための取組

#### (1) 学校設定教科「ブラッシュアップ」の設置

基礎学力の定着や進路別に必要な学力を伸ばすことを目的に教育課程に位置づける。

#### (2) 課外授業の実施

長期休業中や土曜日に組織的に課外授業を実施し、進学希望者の学力を高める。

#### (3) ICTの活用

ICTの活用により生徒の習熟状況や苦手分野を分析し、小テストや朝学習を効果的に行うとともに家庭学習の習慣を付けさせる。

### 2 地域と連携したキャリア教育の取組

#### (1) 高校生未来創造支援事業「地域との連携強化プロジェクト」

①地域の指導者による「食文化」講習

②地域の指導者による「絞り染め」講習

③ものづくり体験教室、小中学校との授業交流

#### (2) 地域の企業や学校との連携

①大館市えだまめ産地育成研究会との連携

②2年生全員によるインターンシップの実施

③地元企業や福祉施設との連携による3年生の職場研修（長期インターンシップ含む）

④秋田職業能力開発短期大学校との産業教育や課題研究の連携

⑤秋田看護福祉大学と生活科学科福祉コースとの授業連携（講師派遣・施設活用など）

⑥比内支援学校との交流事業

⑦鷹巣技術専門校とのものづくり連携

⑧社会福祉協議会や企業と連携した技術ボランティアの実施

#### (3) 大館市との連携

①高校生まちづくり会議 HACHI（中央公民館）への参加

②たしろ学舎（田代公民館）の体験学習プログラムへの協力

③大館市生涯学習課主催事業の体験学習プログラムへの協力

④大館市観光課リーサス部への協力

#### (4) 保護者や地域との連携

①保護者向け進路ガイダンスの実施

②面接指導への協力

③地元町内会との連絡協議会の定期開催

④地域行事への協力

### 3 進路学習・資格取得の奨励

#### (1) 進路希望別模擬試験の全員受験

#### (2) 英検、情報処理検定、家庭科技術検定、工業各種検定等への指導